

「第 16 回防災まちづくり大賞 総務大臣賞」受賞について

日鉄住金建材株式会社（社長；増田規一郎）の事業所が財団法人消防科学総合センター、住宅防火対策推進協議会が主催する「第 16 回防災まちづくり大賞」において、最高賞である「防災まちづくり大賞総務大臣賞」（一般部門）を受賞いたしました。

1. 受賞対象事業所

当社仙台製造所（仙台市宮城野区港 1-3-1 所長：平山憲司）

2. 受賞対象

東日本大震災による大津波から従業員を守った“築山”

3. 事例概要

「日鉄住金建材仙台製造所は、仙台港に隣接しているが、3 月 11 日の地震発生後、津波を警戒して、事前に定めていたマニュアルに則り、協力会社の社員含む 70 数名全員で直ちに避難を行ったため、大津波の影響を受けることなく、全員の命を守ることができた。これは、将来発生するといわれている宮城県沖地震も考慮して、防災マニュアルを作成して周知徹底を行っていたことにあわせて、日頃から避難訓練を行っていた成果である。」（主催者：消防科学総合センターホームページより転掲）

4. 受賞に至った経緯

東日本大震災後で当社従業員（協力会社含む）、地元住民も合せ 130 名余りが仙台製造所の“築山”に避難し、その後襲ってきた大津波から命を守ったことが、地元紙（河北新報）の報道（平成 23 年 7 月 28 日付）で紹介されたこと等で、仙台塩釜港湾事務所殿から推薦したい旨依頼があり、同事務所を通じ宮城県から応募。

“築山”とは

仙台製造所建設にあたって（操業開始昭和 52 年）、近隣への工場騒音を遮断する目的と緑化推進を目的に、工場建設の際の排出土を道路境界に高さ 5m（海拔約 10m）、幅 30m、長さ 180mにわたり造成、松・雑木を植林した土手のようなもの。



築山：震災直後



築山：H23 年 8 月の状況

5. 「防災まちづくり大賞」の概要

<趣旨>

阪神淡路大震災を契機に創設された。地方公共団体や地域のコミュニティ、事業所が行っている防災に関する様々な取組みのうち、特に優れたものを表彰する制度。

<主催・後援>

財団法人消防科学総合センター、住宅防火対策推進協議会、後援は総務省消防庁

<対象・表彰の種類>

対象は【一般部門】と【住宅防火部門】。

表彰の種類は総務大臣賞、消防庁長官賞、消防科学総合センター理事長賞、防火・危機管理促進協会理事長賞があるが、総務大臣賞は全体で2～3事例程度。

<応募・選定>

毎年、主催者から各都道府県に対し推薦依頼（各対象毎に1例以上）があり、都道府県単位で応募。

学識経験者等で構成する「防災まちづくり大賞選定委員会」で審査、選定。

<今回当社以外の総務大臣賞受賞団体>

【一般部門】

熊川地区自主防災会（福井県若狭町）
みんなで守る歴史の町並み-防災まちづくりの実践-

【住宅防火部門】

ナガサキ防火研究会（長崎県長崎市）
住宅防火啓発用視聴覚教材の製作と実用化

6. お問い合わせ先

本社 総務グループ 03-3630-3200

企画グループ 03-3630-2748

「防災まちづくり大賞」受賞式が平成24年3月19日（月）にホテルルポール麹町（千代田区平河町）にて行なわれました。



総務省消防庁長官 久保信保様より表彰状を授与される当社仙台製造所長/平山憲司



受賞者を代表して謝辞を述べる当社仙台製造所長 平山憲司。壇上右手前より(財)消防科学総合センター理事長 天田栄一様、総務省消防庁長官 久保信保様、(財)日本防火・危機管理促進協会理事長 伊藤廉様

以上